

第1学年の保護者の皆様

苫小牧市立青翔中学校長 中川 恵介

平成29年度苫小牧市統一学力検査の結果等について

秋冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のことと拝察申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、4月19日（水）に実施しました苫小牧市統一学力検査の個人票（結果）につきましては、過日、お子さんを通して、各御家庭に配付したところですが、このほど本校の結果と考察がまとまりましたので、次のとおりお知らせします。

なお、「平成29年度苫小牧市統一学力検査の結果等」につきましては、苫小牧市立青翔中学校ホームページに掲載しております。[\(http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gakko/seisho/\)](http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gakko/seisho/)

記

1 検査の概要

(1) 実施日

平成29年4月19日（水）

(2) 調査対象

市内中学校第1学年

(3) 検査内容等

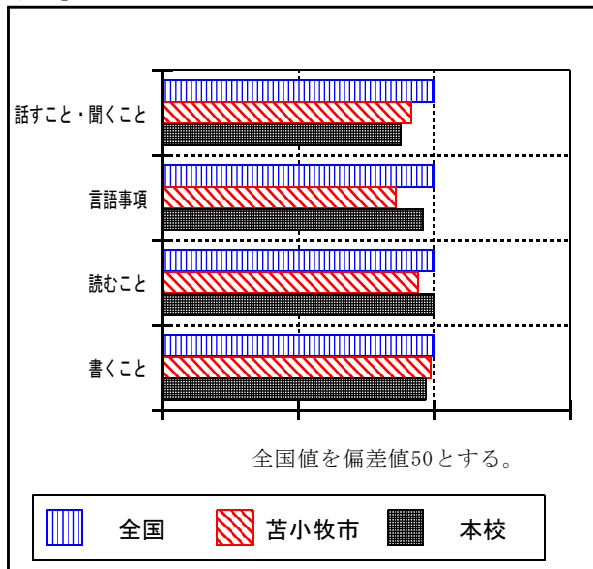
- ① 国語科及び数学科の2教科の学力検査を実施（出題範囲は前学年の学習内容）
- ② 全国学力調査（集団準拠評価）を実施

2 本校の結果と考察

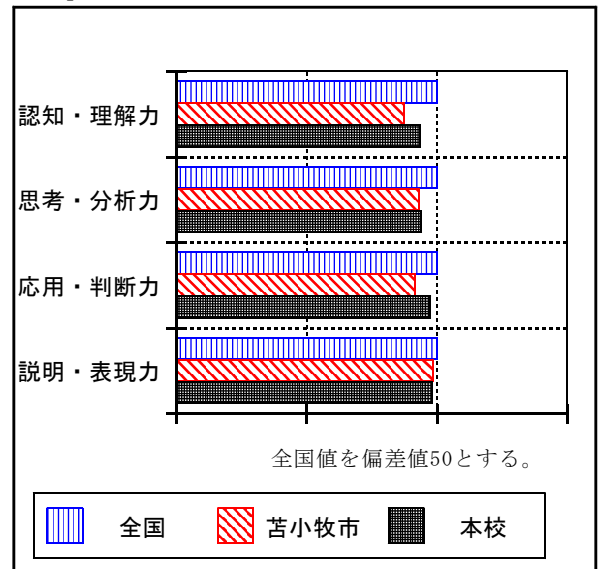
(1) 国語科

①領域別（※1）及び能力別（※2）の偏差値SS（※3）における全国との比較

【領域別】



【能力別】



②考察

* 教科総合は全国値とほぼ同等である。偏差値分布においては、中間上位層が多いが、上位層は少なく下位層がやや多い状態である。

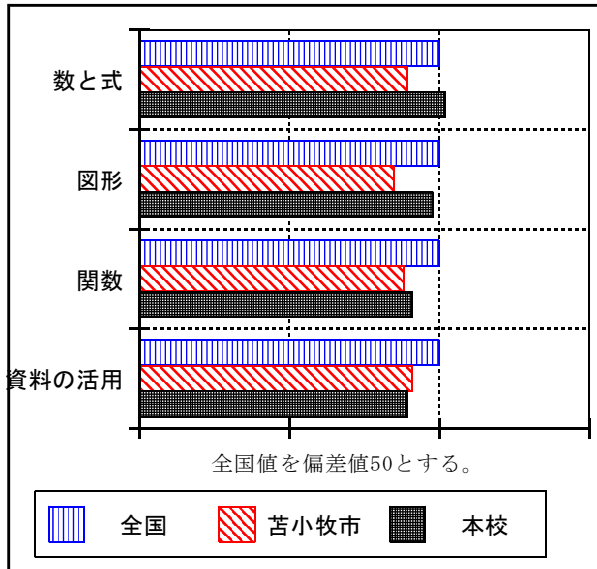
* 領域別では「話すこと・聞くこと」が全国値を下回っている。「言語事項」「読むこと」「書くこと」の3項目は全国値とほぼ同等である。能力別では「認知・理解力」「説明・表現力」「思考・分析力」「応用・判断力」の全てにおいて全国値と同等である。

* 今後の課題としては、「説明的文章の内容の聞き取り、読み取り」の力を伸ばすため、ポイントを押さえたメモのとり方や、時間を効率的に活用した漢字の読み書きの指導充実を図ることで、自らの力で文章を適切にまとめ、説明する等の表現力を高める授業改善を目指す。

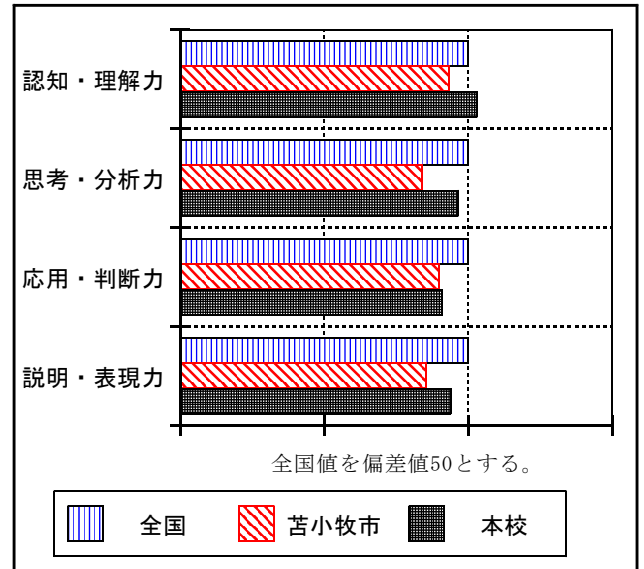
(2) 数学科

①領域別(※1)及び能力別(※2)の偏差値SS(※3)における全国との比較

【領域別】



【能力別】



②考察

* 教科総合は全国値とほぼ同等である。偏差値分布においては、中間層が多く、下位層よりも上位層が少ない状態である。

* 領域別では「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の全てにおいて全国値と同等である。能力別では「認知・理解力」「思考・分析力」「応用・判断力」「説明・表現力」の全てにおいて全国値と同等である。

* 今後の課題としては、「図形」において理解を深めた上で、補助線等を利用し自ら考える力の育成が必要である。「関数」では表とグラフと式の間を深く理解することが重要である。「資料の活用」では、資料や事象を自ら表や図、グラフに表す力の育成が重要である。既習内容の活用や類似問題への取組の充実等を図る授業改善を目指す。

※1 【国語】学習指導要領が示す学習内容のまとめ(話すこと・聞くこと・言語事項・読むこと・書くこと)に基づいた学力
【数学】学習指導要領が示す学習内容のまとめ(数と式・図形・数量関係)に基づいた学力

※2 目標準拠評価における「観点」に対応する視点から設定した学力

○認知理解力：生徒が持っている知識(情報)量とその情報に基づいて単純に判断する力や処理する能力

○思考分析力：課題に応じて知識を関連付けながら推論して判断する基本的な力

○応用判断力：「思考分析力」を更に発展させ、より多くの情報や条件に基づいて、総合的に推論・判断し、問題解決する力

○説明表現力：上記の3つの能力によって導いた結論や考えを第三者に正確に、あるいはわかりやすく説明する力

※3 全国平均を50として、全体と比較し、どの程度の水準にあるかを示す数値